

第21期

2014年度 ハピネス五戸 事業計画

『 利用される方が輝き続ける支援を！ 』



2014 年度ハピネス五戸・コスモス・ルピナス事業計画目次

| | | |
|----|----------------------|--------|
| 1 | ハピネス五戸施設長 | P 1～ 7 |
| 2 | 介護老人福祉施設ハピネス五戸 | |
| | 入所系マネージャー | P 8～ 9 |
| | 生活相談員 | P10～11 |
| | 生活援助員部門 | P12 |
| | ・ 雨宮坂ユニット | P13～14 |
| | ・ 代官坂ユニット | P15～16 |
| | ・ さくら坂ユニット | P17～18 |
| | ・ 水無坂ユニット | P19 |
| | ・ ひよどり坂ユニット | P20 |
| | ・ 八幡坂ユニット | P21～22 |
| | 医務看護部門 | P23～24 |
| | 機能訓練部門 | P25～27 |
| | 介護支援専門員 | P28 |
| | 食事サービス（栄養士）部門 | P29～30 |
| | 食事サービス（厨房）部門 | P31 |
| 3 | 認知症対応型共同生活介護ハピネス五戸 | P32 |
| 4 | ケアステーションハピネス五戸（居宅） | P33～34 |
| 5 | ケアステーションハピネス五戸（訪問介護） | P35～36 |
| 6 | 訪問入浴介護ハピネス五戸 | P37 |
| 7 | 通所介護ハピネス五戸 | |
| | 一般型通所介護部門 | P38 |
| | 認知症対応型通所介護部門 | P39 |
| 8 | 通所介護コスモス | P40～41 |
| 9 | 通所介護ルピナス | P42～43 |
| 10 | 在宅介護支援事業 | P44～45 |
| 11 | 事務部門 | P46～47 |
| 12 | 防災計画 | P48 |
| 13 | 委員会活動 | P49～50 |
| 14 | 各種会議 | P51～52 |
| 15 | 行事計画 | P53 |
| 16 | 研修会スケジュール | P54 |

| | | | |
|---|------------------|-------|-----|
| 事業名 | ハピネス五戸 | | |
| 作成者 | 部署名 | | 役職名 |
| | 氏名 | 立花 則夫 | |
| 年度目標 テーマ | 利用される方が輝き続ける支援を！ | | |
| <p>1 施設長方針</p> <p>ハピネス五戸は、ユニット型個別ケア施設へ生まれ変わりました。</p> <p>私たちはここで利用される方々が最後まで、自分らしく輝き続ける支援を提供していきます。</p> <p>2 2013年度の分析・評価からの方針</p> <p>昨年度、私たちは4名の方を施設で看取らせていただきました。どの方も看取る直前までその方らしい生活を普通に過ごされて、最近随分活気があるなど話題にしていると間もなくお亡くなりになるということが何度かありました。皆さん穏やかなお顔での旅立ちでしたので、ご家族の方に大変喜んでいただき、感謝の声を掛けていただきました。</p> <p>その中で、特におひとりの方は五戸で最初に看取り対応させていた方でした。この方が、施設に入所された当初、食事はほとんど食べません。声を掛けても反応はありませんし、ただボーと天井を眺めているだけの生活で、すっかり生きることに意欲を失っておられすべてを拒否して、ただお迎えを待っている感じでした。それが半年以上も続いたのでしょうか。目に焼き付いている光景があります。</p> <p>夏祭りでのことでした。外に出て舞台脇のテーブルで、息子さんが晩御飯を食べさせようとしていましたが、いつものようになかなか受け付けません。「これを食べねば死ぬんだよ。さー食べろ。」と、息子さんがしきりに言っていた姿が目には浮かびます。それがある日からご飯を食べるようになり、みるみる生気を取り戻し、活気を見せるようになっていったのです。</p> <p>施設では、利用される方々の快適・安全のためにとして、看取り・学習療法・口腔リハビリなど様々なサービスの提供をしています。そして今年はさらにロボット、良眠、感染症の勉強会を行ってきました。しかしいずれもこの方が生気を取り戻すきっかけにはなっていません。なぜならこの方はこれらを導入する前に活気を見せ始めていたからです。</p> <p>ということは、これらのサービスでない、私たちの普段の介護の中に輝きを取り戻す原因があると考えたのです。これを私は「介護の基」だと思っています。</p> <p>「本人が、その時に一番望んでいることだと知れば、その要求を満たしてくれる。そ</p> | | | |

ういう信頼の積み重ねがあったので、入所から日が経つごとに母は消えそうなローソクの火が輝きを取り戻していったんです。」(森 健「老人ホーム乱立 後悔しない施設選び」文芸春秋 2014. 1) というようにある人はこれを「信頼の積み重ね」と言っています。

私たちの仕事は人の輝きを取り戻させる力があることを信じて、最後まで輝き続ける支援を続けていきたいと考えています。

平成 25 年 12 月 21 日、ハピネス五戸は、念願のユニット型施設へ移行しました。

昨年度、ハピネス五戸は従来型施設からユニット型個別ケアへの移行を施設運営最大の目標に掲げて、前年度の平成 24 年 12 月 10 日に立ち上げた「ユニット型移行対策検討会議」は、移行に伴って発生する諸懸案事項について検討を続けて、それぞれのプロジェクトチーム毎の検討課題を、平成 25 年 4 月 22 日に全体として纏めました。それを受けて私たちはホーム職員挙げて準備をしてきました。

ユニット移行会議、ユニット会議、ユニットリーダー会議、そして研修。研修は、まずユニット勉強会を開催し、ユニットとは何かを知ることから始めました。そして、ユニットについて十分な予備知識を持ってから各施設研修に臨み、見学の目的・何を知りたいかを明確にして事前に見学施設へ伝えて研修を行いました。施設研修を踏まえた勉強会を全職員対象に行い情報の共有を図りました。ついで説明会。家族説明会、利用者個別説明会、内覧会を行いました。

平成 25 年 9 月 10 日には、ユニットケアの事業計画プレゼンテーションを行い、職員約 70 名が参加して発表、質疑応答を通して、情報の共有と新しい事業へ取り組む決意を新たにする機会としました。

新しい体制に移り二ヶ月あまり、明らかにこれまでとの違いを見せて来ています。

- ・役割を得て積極的にお手伝いをしてくれる人。
- ・意識が清明になり会話のやり取りができるようになった人。
- ・寝たきりだった人が起きて食事を摂るようになりました。
- ・少人数で職員との関係が密になり、聞き取りにくかった会話からでも気持ちが理解できるようになる、など確実に個別ケアの効果が現れてきていると思わせるような事例が見られるようになって来ています。今後ユニット型個別ケアの定着をしっかりと進めていきたいと思えます。

深刻な職員の不足に職員は今年一年苦しんできました。職場の改善に取り組み明るく希望をもって楽しく働けるようにしていきます。

最後に、地域貢献事業としてオープン講座「認知症と笑って生きる」を実施しました。認知症は人ごとではありませんと呼びかけ、「認知症の症状とその対応について」を十和

田市立中央病院診療部長竹内淳子先生から、自身が主宰する「じゅんちゃん一座」による寸劇を取り入れた講演で認知症に対する理解を深めて頂きました。そして、町内で実際に認知症の家族と向かい合った経験をお持ちの皆様から介護の実体験を発表していただきました。当日の参加者は約 200 名と昨年より少ない結果でしたが、非常に中身の濃い聞きたい人に聞いて頂いた講座であったと思います。

医療・介護の一連のサービスを地域において総合的に確保し、提供体制を実現することで住み慣れた地域での継続的な生活を可能にしようとする施策が動き出しています。地域包括ケアの中核施設としての役割、在宅での生活が困難な中重度者を支えるそして地域の拠点として在宅介護サービスを積極的に展開する事を確認しながら、今年度は利用される方が輝き続ける支援を目標に次の事を重点事項として取り組んでいきます。

(1) ユニット型個別ケアの定着

ハピネス五戸はユニット型に移行しました。新体制に移行して間がありませんが、明らかにこれまでと違うケアの効果が現れてきて新しい可能性を感じさせてくれます。これをしっかり定着発展させて利用者満足に努めます。

(2) 地域包括ケアの中核施設としての役割を確認する

医療・介護の新しい流れが始まっています。地域包括ケアの中核施設としてその役割を確認しつつその責任を果たしていきます。

(3) 職場環境の改善—腰痛対策の取り組み—

働く人に選ばれる、働いて楽しい職場にすることが利用される方々の福祉につながるの信念の基、職場の環境改善に努めます。特に腰痛改善に取り組み機械等の導入に積極的に取り組みます。

(4) 地域貢献事業の推進

私たちの事業は地域の中にあり地域と共にある、の考えに基づいて日ごろの事業展開で得た情報は地域にお返しする考えで地域貢献事業を実施します。

3 理事長方針の具体的活動

(1) 人件費及びベースアップ

- 1) 人件費は 60%を目標とします。
- 2) 各事業の 1%を各人件費の諸手当へ計上し、職員の処遇改善および人材確保・育成に努めます

(2) 事務費・事業費

1) 事務費と事業費の合計は収入の 25%を目標とします。(重度化対応策事業、地域貢献事業、職員研修費、調査費は含まない)

(3) 重度化対応策事業

1) ノーリフティング・ポリシーの実践に向けて、チルド対応姿勢保持機能型車イス、リフトの自己保有を行います。その購入費として収入の 1%を計上します。

| | | | |
|------|-----------|-------|-------|
| ホーム | モジュラー型車イス | 60 万 | (6 台) |
| | リフト | 48 万 | |
| | 褥瘡予防マット | 46 万 | |
| コスモス | 車いす体重計 | 15 万 | |
| | ホットパック | 84 万 | |
| | チルド車イス | 45 万 | |
| | 特浴ストレッチャー | 200 万 | |
| デイハピ | チルド車イス | 84 万 | |
| ルピナス | チルド車イス | 84 万 | |

2) ノーリフト協議会への積極的に参加します。

3) 介護ロボット導入のためにメーカーモニター参画を積極的に実施します。

(4) 地域貢献事業を実施します。

1) 「訪問入浴」「在宅介護支援」は、高齢者の在宅での生活を支える重要な事業です。これを地域貢献事業として在宅生活支援プログラム等の事業計画を作成して継続していきます。

2) オープン講座は、「認知症と笑って生きる」として 2 年続けて実施しましたが、趣旨を生かして今後も継続していきます。

3) 介護初任者研修は、町内にかかわりのある人を対象に今年度実施します。

(5) 職員研修費

地域包括ケア体制構築を進める地域の実情に合わせて、地域包括ケアの実施に向けた職員の質の向上化対策として研修費を 1%計上します。

(6) 次期介護事業計画のための調査費、企画立案費として 50 万円を計上します。

(7) 「ハピネス昭和の森」開設に向けた異動希望者発掘等の協力をします。

(8) 収支差額率目標は 12%とします。

4 各事業の方針

(1) 特別養護老人ホーム

- ・ ユニット型個別ケアの定着（前述）
- ・ 地域包括ケアの中核施設として在宅での生活が困難な中重度者の積極的に受け入れます。
- ・ 感染症と熱発の発症を多職種共同で防止し、空き日数の短縮そして待機者常時 5 名を確保する事により、稼働率実績 96%と在籍 100%を目指します。
- ・ 看取り介護技術の向上により看取り介護の満足度を高めます。
- ・ 嘱託医そして協力病院との連携強化に努めます。

(2) ショートステイ

- ・ リピーターやご家族に安心してご利用いただけるようサービスの質の向上に努めます。
- ・ マニュアル化した受け入れ態勢によって感染症の発症防止に努めます。
- ・ 緊急利用者の受け入れに即応し、福祉避難所として地域需要に対応していきます。
- ・ 地域居宅事業所との連携を密にし 100%の稼働率を目指します。

(3) グループホーム

- ・ 設備の見直しによって利用者の重度化に対応していきます。
- ・ 入退所を適切に行い稼働率 98%を目指します。

(4) デイサービス

- ・ 利用者個々のニーズに合わせた対応により利用者満足度を高めていきます。
- ・ 地域包括ケアシステムの構築に伴い、新たに制度化される予防給付者の地域支援事業への移行対応策を検討して行きます。
- ・ 稼働率は 1 日当たり定員-4 を目指します。

(5) 居宅支援事業所

- ・ 自立支援型のケアマネジメントを推進するため、質の高いアセスメントを目標として高齢者が地域で安心して生活出来るよう支援します。
- ・ 相談受付窓口機能を生かし、利用者の発掘に努めます。
- ・ 稼働率はマックスの 95%を目指します。

(6) 訪問介護

- ・ 安心して在宅での生活が継続できるよう介護技術の向上と均一化を図ります。
- ・ 地域包括ケアの中核施設として、在宅生活を支える訪問介護事業を積極的推進していきます。

・

(7) 訪問入浴

- ・ 身体の清潔を保持し、疲れを癒し開放感を味わっていただきます。
- ・ 地域包括ケアを支える施設として、ご家族の負担を軽減し在宅での生活を支援します。

(8) 在宅介護支援事業

- ・ 地域包括ケアの中核施設として、配食サービスは在宅での生活を支える基本的事業として積極的に推進していきます。
- ・ 高齢者訪問事業、転倒骨折予防教室は「楽しい・ためになる」を目指して事業を実施していきます。

5 職員教育・職員資格取得支援について

- ・ ケアマネージャー、介護福祉士の資格取得については支援体制を整備して支援に当ります。

6 各事業の加算項目についての方向性

- ・ 各事業においては加算を取得することが、利用者へのサービス向上になることから介護報酬各加算項目取得へ積極的に対応します。

7 コンプライアンスへの取り組みについて

- ・ 単に法令の遵守と最低基準のルールを守るだけでなく、利用者の基本的人権を侵害することなく利用者一人ひとりのニーズに応えられるサービスを提供を行います。
- ・ 毎月のリーダー会議において各法令順守が守られているかを確認します。
- ・ 施設長連携会議において情報取得を行います。

8 第三者委員会について

- ・ 提供するサービスについて利用者からの苦情を解決するために第三者委員を設置します。
- ・ 第三者委員は、苦情を密室化することなく、社会性或客観性を確保し、一定のルールにそってこれを解決進めることにより、円満解決の促進事業者の信頼確保を図ります。

9 地域とのかかわり

- ・ 地元町内会との交流は定期的に行うと共に、災害協力隊活動を引き続きお願いして行きます。
- ・ ボランティアの受け入れは定期、随時問わずに受け入れてきましたが、今後も積極的にボランティアを受け入れていきます。

| | | | | |
|--|-----------------|-----------|-----|----------|
| 事業名 | 特別養護老人ホームハピネス五戸 | | | |
| 作成者 | 部署名 | 特別養護老人ホーム | 役職名 | 入所マネージャー |
| | 氏名 | 小泉 友江 | | |
| 年度目標 テーマ | 幸せの時間をチームで支援 | | | |
| <p>昨年 12 月 21 日ユニット型特養へと生まれ変わり、ご入居者は新しい生活を楽しみ個別ケアの良い効果が見られている反面、職員は 10 名のご入居者の方々への支援方法や環境整備等について試行錯誤を繰り返している状況です。</p> <p>又、建物も増築され認知症対応型共同生活介護との行き来がスムーズになりました。ご入居者の交流だけでなく、違う部署であっても職員同士がお互いに刺激を受け切磋琢磨出来るよう工夫していきます。</p> <p>1、目標稼働率</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特養…96%、短期入所生活介護…96.8%、認知症対応型共同生活介護…98%を目標とします。 ・スムーズに入居し、入居後もトラブルなく個々が楽しく生活出来るよう待機者確保について相談員、各リーダーと協働し取り組みます。 <p>2、ユニット型個別ケアの定着</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭に近づき個人を尊重したケアへの取り組み状況について、各会議に参加し把握していきます。 ・各部署協働でケアを行えるよう連携会議を行い調整していきます。 ・委員会活動がスムーズに実施出来るよう、日程等をまとめます。 ・特養、認知症対応型共同生活介護間での職員施設見学等で、互いにケアや環境整備の参考になるよう取り組みます。 ・看取り介護、学習療法、口腔リハビリは委員会活動、支援状況を把握していきます。 ・個別指導や内部研修、外部研修参加でスキルと意識の差を小さくしていきます。 <p>3、職場環境の改善—腰痛対策の取り組み—</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員会、機能訓練部門を中心にロボットや福祉用具の検討と介護技術の向上に取り組みます。 | | | | |

4、地域との関わり

- ・地域ボランティア団体の受け入れを継続していきます。作業終了後は、ご入居者と交流を図ることが出来るよう工夫していきます。
- ・個人ボランティアも積極的に受け入れしていきます。

5、第3者委員への対応

- ・委員からのご意見は各部署へ伝達し、改善箇所は早急に対応していきます。

6、自治会への対応

- ・担当者を中心にご入居者の要望に合わせた行事の開催や物品をそろえ、より良い生活となるよう取り組んでいきます。

| 事業名 | 特別養護老人ホームハピネス五戸 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|-----------------|-----------------------|-----|-------|-------|-------|-----|-------|-------|-------|-----|-----|-----|----|----|----|-------|-----|-------|-----|-------|-------|-------|-----|-------|-------|-------|-----|
| 作成者 | 部署名 | 特別養護老人ホーム 短期入所生活介護 | 役職名 | 生活相談員 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 氏名 | 工藤 聡美 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 年度目標 テーマ | 親しまれる『家』づくり | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>昨年度は五戸町内に新たな地域密着型施設がオープンし、今年度もまた一つ開設されま す。当施設が町外の方の受け入れも可能な特養・短期入所事業所である事と、定着してき ている口腔リハビリや学習療法、希望の増えてきている看取り介護を大きな利点とし、広 域から「ハピネス五戸がいろいろやってけるがらいい」と言っていたけような施設を 目指します。</p> <p>【特養】</p> <p>1、稼働率目標 96% 平均介護度 4.5</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>4月</th> <th>5月</th> <th>6月</th> <th>7月</th> <th>8月</th> <th>9月</th> <th>10月</th> <th>11月</th> <th>12月</th> <th>1月</th> <th>2月</th> <th>3月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>95,5%</td> <td>96%</td> <td>96,5%</td> <td>97%</td> <td>96,5%</td> <td>96,5%</td> <td>96,5%</td> <td>95%</td> <td>94,5%</td> <td>95,5%</td> <td>96,5%</td> <td>96%</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度は慢性的な疾患による出血や発熱による入退院、そして入院の長期化が目立ち ました。今年度は、入院後急性期を過ぎたら退院に向けての働きかけを看護と協働し て行います。 ・待機者常時5名確保の為、月2名の状態確認を実施し待機者が1名減る毎に一週間以 内の入所判定会議を実施します。ご入居までの間隔を7~10日以内を継続し、空床の 軽減に努めます。入居後も個々が生活しやすい環境になるよう、事前にユニットリー ダー等と相談します。 <p>2、ご家族、家族会との関わり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ユニット型特養移行により、家族会主催の行事やボランティア活動も形が変わる事 になります。役員会を定期的に行い、ユニット職員の計画案と家族会の意見を擦り合わ せ、今の形に合った行事等を計画していきます。行事計画にユニットの意見が反映さ れるよう、役員を各ユニットに1名以上所属とするなど、家族会規約の見直しを図り ます。 <p>3、多職種との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ご入居者の様子と面会にいらしたご家族、電話連絡でのご家族の様子を、隔週で直接 ユニットへ出向き把握していきます。又、入院者についての動向を一週間毎に看護ス タッフより確認する等、昨年度同様報告、連絡、相談、を意識して取り組みます。 | | | | | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 95,5% | 96% | 96,5% | 97% | 96,5% | 96,5% | 96,5% | 95% | 94,5% | 95,5% | 96,5% | 96% |
| 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 95,5% | 96% | 96,5% | 97% | 96,5% | 96,5% | 96,5% | 95% | 94,5% | 95,5% | 96,5% | 96% | | | | | | | | | | | | | | | | | |

【短期入所】

1、稼働率目標 96.8% 平均介護度 3.5

| 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|-----|-----|-----|-----|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 93% | 96% | 99% | 96% | 100% | 98% | 98% | 96% | 95% | 95% | 98% | 98% |

4月に地域密着型特養が開設されることにより、昨年度同様一時的な稼働率の停滞が予想されます。

- ・毎月の実績報告を殆どFAXで行っていましたが、三ヶ月に一度は直接居宅介護支援事業所へ届けに伺ったり、その他近隣の居宅介護支援事業所へも出向きます。又、カンファレンスや担当者会議等でも交流を深め、更なる新規利用者獲得へ繋げます。
- ・特養の空床が発生した場合、居室の明け渡しを家族へ確認し、3日以内に居宅介護支援事業所へ情報提供を行い、稼働率の維持に努めます。

2、ユニット型の利点を生かす

ユニット型に移行した事で、ご利用者へのケアやご家族との情報交換をユニット職員が行うようになりました。特定の職員が関わる事で馴染みの関係作りと、介護支援専門員との定期的な情報交換を行う事で、ご利用者もご家族も安心して利用頂けるサービスづくりをします。

新規ご利用者で、認知症などにより短期入所利用がストレスになる事が予想される場合、ストレス軽減出来るヒント（身につけているもの、家具の配置、等）を聞き取り、必要時は私物を持参して頂きます。

| | | | | |
|--|------------------|-----------|-----|--------|
| 事業名 | 特別養護老人ホームハピネス五戸 | | | |
| 作成者 | 部署名 | 特別養護老人ホーム | 役職名 | 介護リーダー |
| | 氏名 | 高村 英理子 | | |
| 年度目標 テーマ | ユニット型個別ケアの定着に向けて | | | |
| <p>昨年ユニット型特養へ移行し、ご入居者はそれぞれ 10 人の方々との社会生活を送られています。個人によっては、自分の役割をみつけ意欲的な生活を送られていますが、傍ら、個室での生活になり、刺激が少なくなっているご入居者がいるのも現状です。</p> <p>1. 個別ケア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・24Hシートの活用～その方の意向に沿った活動やケアを提供するために、多職種の協働、情報を共有し反映させていきます。 ・個別ケアのチェック、指導～ユニットリーダー会議で、情報交換と方向性の確認をします。 <p>2. リハビリ</p> <p>ご入居者の重度化、高齢化により身体機能の衰え、拘縮がすすんでいるのが現状です。私達は毎日生活支援をしていく中で、身体能力、残存機能を衰えさせないケアを専門職と連携し提供していきます。その為に、個別プログラムの作成で、生活リハビリをしていきます。</p> <p>3. 職場環境</p> <p>職員の腰痛予防のため、移動動作介助におけるボディメカニクス等の知識を学んだり、福祉用具等を利用して介助負担の軽減を図ります。</p> <p>4. 消耗品の軽費削減</p> <p>使用量を月末にユニット毎にチェックし、使用状況の把握をし経費の削減に努めます。</p> <p>5. 自治会の運営</p> <p>定期的な役員会の開催でご入居者の意見を取り入れ、希望や活動を支援していきます。</p> <p>6. 地域貢献</p> <p>町内の保育園等との交流会をもつなど、地域と密着できる様に取り組みます。</p> | | | | |

| | | | | |
|---|------------------------|---------|-----|----------|
| 事業名 | 特別養護老人ホームハピネス五戸 | | | |
| 作成者 | 部署名 | 雨宮坂ユニット | 役職名 | ユニットリーダー |
| | 氏名 | 沢頭 優佳 | | |
| 年度目標 テーマ | その人らしさを尊重し生きがいを感じられる支援 | | | |
| <p>昨年 12 月に従来型からユニット型へ移行し、ご入居者 10 名での生活に慣れはじめてきています。その中でご入居者一人ひとりが生きがいを感じられるよう、24 時間シートを活用し本来の生活スタイルを提供していきます。</p> <p>1、個別ケアの提供</p> <p>入浴・・・ユニットの顔なじみの職員とのゆったりとした入浴ができるよう入浴剤や季節のもの（菖蒲湯等）をとり入れていきます。</p> <p>皮膚・・・現在 2 名の方がユニット移行になる前から褥瘡になっており、完治に向け処置を毎日行っています。皮膚状況の観察を徹底し、状態を悪化しないよう処置方法や石鹸を変えてみる等、スキンケアについて他職種協働で検討していきます。定期的な写真撮影をし経過をみます。</p> <p>食事・・・食事が楽しみと思えるように、家庭的な環境作りの他テーブルの配置場所を工夫し個人の食べたい場所で楽しく食事をして頂けるように支援します。</p> <p>排泄・・・羞恥心やプライバシーを守ります。尿測を実施する事で、最適なオムツを使用し、個人に合わせた排泄時間の把握で不快感をあたえないよう取り組みます。</p> <p>余暇活動への取り組み・・・ご入居者の昔の職業や趣味の情報収集をもとに、外出やボランティアでの農作業、音楽等趣味を聞きだし一日を有意義に過ごして頂き、生きがいを感じられるように支援します。又、ご入居者間の交流もできるよう工夫します。</p> <p>2、ご家族との関わり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ご家族とご入居者の関わりを大切にし、あまり面会に来られないご家族にも安心して頂けるように手紙（写真）や電話など月一回の近況状況報告をします。 面会時はご家族とのコミュニケーションを図り、信頼関係作りに取り組みます。 ・行事はご家族に連絡をし交流を深めます。 | | | | |

3、行事

5月・・・A・D合同で家族と一緒に花見ドライブ（お茶会）

7月・・・七夕会

9月・・・紅葉ドライブ（お茶菓子）とショッピング（外食）

10月・・・ショッピング（外食）

12月・・・クリスマス会

1月・・・新年会

3月・・・お菓子パーティー

※誕生日会は個人ごとにその日に行います。

| | | | | |
|--|-----------------|---------|-----|----------|
| 事業名 | 特別養護老人ホームハピネス五戸 | | | |
| 作成者 | 部署名 | 代官坂ユニット | 役職名 | ユニットリーダー |
| | 氏名 | 田沢 歩 | | |
| 年度目標 テーマ | その人らしい生活の継続のために | | | |
| <p>ユニットの少人数での生活により、他者とのトラブルが頻回であった方が、穏やかな生活を送れるように変化の兆しが見えつつあります。</p> <p>一方で、隣接ユニットとの協力が困難ななか、チューブ抜去のリスクが高い方や食事介助が必要な方が多く、円滑な生活を支援するためには課題も山積しています。業務の改善を図り、必要な支援が気持ち良く提供できるユニットにしていきます。</p> <p>1. 毎日、笑顔で</p> <p>その日のご入居者の調子、状態に合った声掛け、ケアを提供します。ゆったりとした気持ちで接し、会話する事でご入居者が自然に笑顔が出るように努めます。24hシートを活用し、10名それぞれの生活リズムに合ったケアを提供し、快適に過ごして頂けるよう支援していきます。又、個々に合わせた趣味活動を一緒に行っていきます。ご入居者にやりたい事を聞きながら、頭の体操、ゲーム等、今日は楽しかったと思っただけのよう取り組んでいきます。</p> <p>2. 口腔ケア</p> <p>毎日、楽しく、美味しく、食事が出来るように、口腔ケアに力を入れていきます。口腔リハビリ、歯科医師の指導の元、嚥下体操、吹き戻し等を積極的に行います。又、個々に合った口腔ケア用品を検討し使用します。発熱等ないよう吸引が必要な方は、こまめに施行していきます。</p> <p>3. 排泄</p> <p>年二回尿測を実施し、個々に合った排泄回数、オムツを使用し、皮膚トラブルの無いよう努めていきます。又、看護と協力し、下剤を出来るだけ最小限にしトイレに座る事を習慣付けたり、食事、補食、マッサージ等で排便を促すよう努力します。</p> <p>4. 情報共有</p> <p>毎日、業務に入る際、申し送りを確実に言い、情報を共有し、ケアの統一を図ります。又、月に一回ユニット会議を開催し、問題点を話し合い改善していきます。</p> | | | | |

5. 行事（予算）

5月 A・D合同、ご家族とお茶会、お花見ドライブ

7月 七夕会

9月 久保田きよ様100歳のお祝い
紅葉ドライブ、ショッピング

12月 クリスマス会

1月 新年会

3月 お菓子パーティー

※誕生会は誕生日に行います。

| | | | | |
|--|-------------------------------------|----------|-----|----------|
| 事業名 | 特別養護老人ホームハピネス五戸 | | | |
| 作成者 | 部署名 | さくら坂ユニット | 役職名 | ユニットリーダー |
| | 氏名 | 高橋 桂子 | | |
| 年度目標 テーマ | 五感で感じる幸せを 一人ひとりが感じることでできるケアを目指して | | | |
| <p>さくら坂ユニットでは、今現在二名の方が看取りとなっています。その中の一名は全くご飯を食べず吐き出す毎日でした。ユニットになってから、ご家族からの情報によりチョコが好きだと言うことが分かり、ユニットスタッフ、栄養士と相談し毎食食パンにチョコクリームを塗って提供したところ、毎日残さず自分で食べるようになりました。笑顔も増え歌もよく歌っています。ご家族の希望もあり居室の扉はいつも開けたままで、いつもこちらの様子が分かり寂しくない環境が整っています。感じ方は人それぞれですが、その方が幸せと感じることを見つけサポートしていけたらと思います。</p> <p>1. 視覚、聴覚、触覚、味覚、嗅覚</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 食事はその方が一番美味しいと感じる温度で食べて頂けるように、提供時間が遅くなくても都度温め直しや、冷やして美味しく味わっていただきます。食べている様子を観察しその方に合った食事形態を専門職と相談し変更していきます。できるだけ形ある物を提供し、見た目でも楽しみを持てるよう口腔リハビリにも積極的に取り組んでいきます。 ・ 排泄ケアは失禁、尿漏れのないようその方の排尿量や交換時間を確立できるよう観察していき、羞恥心やプライバシー、臭いに配慮し素早く丁寧に交換できるよう指導していきます。 尿便意があり、座位の安定している方へはトイレでの排泄を支援できるよう検討していきます。排便困難時は下剤も使用しますが看護と連携し下剤の調整や把握により、より自然な排便を目標としていきます。 ・ 入浴はできる限りご本人の意向に沿えるように、手順も含め 24 時間シートを活用して気持ちよく湯船に浸かって頂けるよう支援します。色や匂いでもリラックスしていただくよう入浴剤の使用も検討します。 ・ 毎日の口腔ケアはもちろん、拭き戻し、口腔マッサージ、舌の訓練、ROM訓練他毎日のケアの中でご入居者とのスキンシップを大切にしていきます。 ・ 職員の声のトーンやご入居者の生活の妨げになるような音には十分注意し、穏やかに安心した生活が送れるよう心掛けていきます。 | | | | |

2. ご家族との関わり

- ・ご家族が面会に足を運びやすいよう普段からの情報交換を密にし、より良い関係を築けるよう働きかけます。又、来園時にはお茶や珈琲でもてなしゆったり寛いで面会して頂けるよう工夫していきます。遠方の方でなかなか面会できない御家族様へは定期的に状態報告し家族からのメッセージを伝えたり、会話する機会を設けていきたいと思えます。ご入居者様が寂しい思いをしないように職員との関係づくりにも力を入れていきます。

3. 趣味活動

- ・学習療法、手工芸、書道クラブ、フラワーアレンジメントへの参加、他日常のお手伝い、花の世話や塗り絵等、その方のやる気や生きがいになるような事を見出し生き活きとした生活が送れるよう支援します。

4. 望まれるケア

- ・職員のスキルアップの為にユニット内でケアの確認や勉強会の実施、専門職からの助言を受けていきます。ケアの統一の為、2ヶ月に1度24時間シートの見直しを行います。

5. 行事

- ・ 5月 お花見ドライブ
- ・ 10月 紅葉ドライブ
- ・ 12月 忘年会
- ・ 1月 新年会
- ・ 2月 節分
- ・ 3月 お菓子パーティー

| | | | | |
|--|--------------------------|---------|-----|----------|
| 事業名 | 特別養護老人ホームハピネス五戸 | | | |
| 作成者 | 部署名 | 水無坂ユニット | 役職名 | ユニットリーダー |
| | 氏名 | 平内 裕美子 | | |
| 年度目標 テーマ | その人らしく生き生きと生活を送っていただくために | | | |
| <p>昨年 12 月からユニットでの生活となり、ご入居者も新しい環境に慣れてきています。最近ではご自身で好きな時間に、好きな事をできるというユニットの良さを感じ、過ごされている方もいます。今年度は、このユニットで、安心して楽しく過ごせるように支援していきます。</p> <p>1、入居者の生活パターンを知る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 24 時間シートを活用し、ご入居者の生活パターンや趣味などを把握し、一人ひとりのやりたい事を探っていきます。 ・ 排泄は、尿測を実施にて個々に、あった排泄ケア（その人に合ったパット、排泄時間）を行い快適な生活を支援していきます。 <p>2、看取り対応のご入居者が安心して生活するために</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 看取り対応のご入居者が穏やかに生活していくため、ご家族に対し面会時には近況報告や月一回の電話連絡を行い信頼関係を作っていきます。 ・ ご入居者の望んでいる事をくみとりながら支援していきます。 ・ 環境整備に努めていきます。 <p>3、情報の共有について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 月一回ユニット会議を開催し、業務で不安に思っている事、気づいたことを話し合い統一したケアをしていきます。 <p>4、行事</p> <ul style="list-style-type: none"> 5 月～S, Mユニット合同お花見ドライブ・沢田つや様 100 歳の誕生会 7 月～お菓子パーティ 10 月～S, Mユニット合同紅葉ドライブ 12 月～S, Mユニット合同忘年会 1 月～S・Mユニット合同新年会 3 月～お菓子パーティ | | | | |

| | | | | |
|--|--------------------------|-----------|-----|----------|
| 事業名 | 特別養護老人ホームハピネス五戸 | | | |
| 作成者 | 部署名 | ひよどり坂ユニット | 役職名 | ユニットリーダー |
| | 氏名 | 豊川 瑞貴 | | |
| 年度目標 テーマ | 安心・安全・安定した生活へとつながるケアの提供へ | | | |
| <p>昨年度に引き続き安心・安全・安定に着目したケアを提供していきたいと考えています。ユニットへ移行し最初は職員共々環境等に慣れるので精一杯でしたが、個別ケアを提供できるよう工夫してきました。</p> <p>QOLが向上してきたご入居者もあり、やりがいとユニットケアの良さを感じてきているところです。</p> <p>1、安心へとつながる声掛け、援助 引き続き不安へとつながらないような声掛け・援助をご入居者やご家族の希望に添って個別に提供します。</p> <p>2、危険のない援助、環境作り 24Hシートの内容を2カ月に1回の見直しを行い、統一したケアを提供します。それを活用し個々の行動パターンを把握し事故を防ぐ環境作り・援助をしていきます。</p> <p>3、安定へとつながる生活へ その人らしい生活が送れるよう、趣味・嗜好を把握し趣味活動ができる環境作りをします。 体調の変化に気づくことができるよう、日々の観察と職員間で情報を共有して、健康を保つ支援を行います。</p> <p>4、行事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 4月～5月：お茶会 ・ 12月：クリスマスお菓子パーティ ・ 1月：家族合同新年会 ・ ご入居者誕生日お祝いはその都度 | | | | |

| | | | | |
|---|--------------------|-----------------------|-----|----------|
| 事業名 | 特別養護老人ホームハピネス五戸 | | | |
| 作成者 | 部署名 | 短期入所生活介護 (八幡坂ユニット) | 役職名 | ユニットリーダー |
| | 氏名 | 中野 和哉 | | |
| 年度目標 テーマ | 在宅での生活を施設でも実現するために | | | |
| <p>短期入所生活介護もユニット型になり、職員も環境の変化に慣れてきました。ご利用者の方々も従来の時よりも在宅での生活に近い状態で利用できており、今までに見ることのできなかつた表情や行動が見られています。今年度も継続して、在宅での生活に近づけるように情報収集を密に行い、個々のニーズに沿ったケアの提供を目指します。</p> <p>1. 短期入所生活介護ユニットとして</p> <p>ご利用者が安心して生活できるようにご家族から事前に状態、生活スタイルを確認し、入所時も細かく聴き取りを行います。又、他事業所からも利用中の状況を確認し、自宅での生活を施設でも継続して行えるよう援助します。</p> <p>ケアチェック表を見直し、ご利用者の状態やケア内容をスタッフで共有し、統一したケアを行います。利用中体調変化、皮膚状況に変化あった際にはご家族だけでなく、他事業所へも状態を伝え共有していきます。</p> <p>2. ご家族との信頼関係構築のために</p> <p>利用中の状況だけでなく、施設でどのように対応し結果どうだったのかも伝え、施設での生活をご家族へもより細かく伝え理解して頂きます。また利用中に変化があった時はその都度ご家族へ連絡、報告し早期発見・治療に努めます。</p> <p>3. 環境整備</p> <p>在宅生活の延長になるよう、自宅居室内の様子を細かく確認します。ご家族の同意がある際は写真に残します。ベット、チェストの他にも家具などの配置をできる限り自宅へ近づけ、穏やかに生活できるよう支援します。清潔感が保たれるように、毎日午前、午後に居室内を確認、清掃を徹底しご家族の来園時にも落ち着いて過ごせるよう環境を整えます。</p> | | | | |

4. 認知症の方への理解

会話のみでなく、表情、動作等からも気持ちを汲み取れるようにユニット内で認知症の方への対応についての勉強会を開催し、一つでも多くのコミュニケーション技法を習得する事で一人ひとりのニーズを把握し、よりよいケアができるようにします。又、接遇についてスタッフ同士で指摘し合い、全体のスキルアップを図ります。

5. 行事

春；トマトやじゃがいもを植え、その日その日のご利用者と一緒に育てます。

夏；ドライブ週間をつくり、日替わりで地域へドライブに行きます。

秋；収穫祭を行い、実った作物を調理し食べます。

冬；クリスマス会、忘年会を開催します。

| | | | | |
|--|----------------------------|--------|-----|------|
| 事業名 | 特別養護老人ホームハピネス五戸 | | | |
| 作成者 | 部署名 | 医務部門 | 役職名 | リーダー |
| | 氏名 | 西塚 三枝子 | | |
| 年度目標 テーマ | ご入居者が輝き、その人らしい最期を迎えるよう支援する | | | |
| <p>1、ご入居者の健康管理、心身の安定を図る</p> <p>ご入居者が健やかで快適な生活をしていただくため、関係職種と連携を図り、日常生活の中から、状況を的確に踏まえ疾病の早期発見、早期対応に努めます。</p> <p>(1) 食事・水分・排泄状況を把握管理し疾病の予防や、快適な生活維持のための早期対応に努めます</p> <p>(2) 疾病障害状況の把握と適応処置のため、嘱託医との連絡調整を密にします</p> <p>(3) 褥瘡予防のため、生活援助員と連携し確実な除圧と体位変換を実施します</p> <p>(4) 新人職員を対象とし、ご入居者の体調変化や急変時の対応が適切に実施できるよう、医療の知識を高める研修を行います</p> <p>2、看取りに対する援助</p> <p>看取り介護は特別なものではなく、日常ケアの延長上にあります。ご入居者やご家族との信頼関係を構築出来るよう日頃からのコミュニケーションを大切にし、ご家族が様々な悩みをもった時、適切な対応ができ安らかな最期を迎えられることができるよう援助します。</p> <p>(1) 病状の変化等に伴う緊急時の対応について、看護師が医師との連絡をとり判断します。夜間においては夜間勤務職員が待機看護師と連絡をとって緊急対応を行います。</p> <p>(2) その人らしい自然な姿で看取り介護ができるように、生活援助員と連携をとり、生活上のケアポイント等の研修を行います。</p> <p>(3) ご家族の身体的・精神的負担の軽減に配慮し、話しやすい環境を作り支援します。</p> <p>3、感染症の予防</p> <p>集団生活の場であることから感染症が流行する可能性があり、その対策として日常生活の中で環境整備、換気を充分行い、手洗い、うがいの励行を働きかけていきます。各種感染症（インフルエンザ 疥癬 ノロウイルス）の予防、発症時の対策として、疾患別マニュアルに基づき実施していきます。</p> | | | | |

4、嘱託医との連携

- (1) H26年1月31日より、やわたクリニックへ変更になり隔週の回診となった為、情報提供を密に行っていきます。
- (2) 体調不良・急変時は医師に的確に状態報告し、指示を仰ぎます。
- (3) 医師との信頼関係に努め、ご入居者の負担軽減のため無意味な病院受診を減らし、施設内対応をしていただけるよう調整に努めます。

5、協力病院

- ・五戸総合病院
- ・下長内科クリニック

6、その他病院との連携

隔週木曜日 田中医院 田中Dr 往診
月1回 三川神経内科 三川Dr 往診

| | | | | |
|---|----------------------|--------|-----|------|
| 事業名 | 特別養護老人ホームハピネス五戸 | | | |
| 作成者 | 部署名 | 機能訓練部門 | 役職名 | リーダー |
| | 氏名 | 中野渡 恵理 | | |
| 年度目標 テーマ | ご入居者、ご利用者、職員が共に輝くために | | | |
| <p>ご入居者が輝き続けるために、ご入居者・ご利用者そして職員が笑顔にあふれ、事業所全体が共に輝き続けることが理想です。そのためには、身近でケアに当たる職員の心身両面のストレスや不安を軽減し、やり甲斐の感じられる職場にすることで、ご入居者とともに笑い合い、寄り添い、語り合う、真の信頼関係を構築することが必要であると考えます。機能訓練の専門職としての役割では、個々のご入居者への機能訓練や職員への助言といった「直接的介入」と、職員の心身を守るための腰痛対策や福祉用具の導入といった「間接的介入」の両方を進める必要があります。特に、ユニット型特養への移行で、二人対応での離床・移乗の援助に際し人員確保が困難であることで、職員の身体面の負担が増加した部分も見受けられます。昨年に引き続き、モジュラー型車椅子の追加購入や、移乗支援機器の導入により、腰痛対策の取り組みを推進します。</p> <p>1. 個別機能訓練</p> <p>ご入居者個々の身体機能、生活動作能力、認知機能の評価に基づき、安定した生活を送るための機能訓練計画を立案し実施します。個々の訴えや意向、職員の気付き・迷い・不安への対応を迅速に行い、ご入居者・職員双方の安心・安全を支援します。また、毎月のカンファレンスやモニタリングを通して、ケア方法や生活リハビリ指導、ポジショニングの指導を行い、より良いケアの提供に向け助言していきます。</p> <p>2. 福祉用具の導入</p> <p>施設長方針の重点項目に沿い、腰痛対策の取り組みのためにリフト等の移乗支援機器を中心に職員の職場環境の改善を推進します。また、老朽化や故障の進んでいる車椅子に関しても購入し入れ替えを進め、機種をモジュラー型にすることで、より身体に適合した車椅子を提供し、職員の負担軽減と身体機能の維持に努めます。</p> <p>また、ご入居者の重度化に適合した設備を確保するため、昨年度は主にティルトリクライニング型の車椅子を導入しました。今年度は褥瘡予防マットやエアマットが必要なご入居者の増加に対し不足しているマットも整備を進めます。</p> | | | | |

3. 個別対応車椅子の導入推進

地域特性として、自費購入には経済的にも協力して頂くことが困難なため、身体障害者手帳を利用した個人用車椅子の導入を推進します。オーダーメイドで身体機能に適合した車椅子を作成することを援助し、安定性・快適性の向上を図ります。

4. 在宅部門との連携

昨年度より機能訓練部門が入所部門から独立し施設長直下となり、在宅部門からの相談に対応できる体制となりました。動作介助方法や機能訓練方法、プラン作成、住宅改修等の助言を行い連携します。また、短期入所利用者に関する情報共有に努め、シームレスなサービス提供を目指します。

5. 口腔内健康の継続

青森エリアでの口腔リハビリテーション開始以来、これまでハピネス五戸における体制構築とコーディネートを担って参りました。昨年度より、口腔機能維持管理体制に関しては加算根拠記録や管理を委員会の看護職員へ、口腔リハビリテーション診療を委員会の管理栄養士に伝達し、複数の職員が加算要件や診療の流れを理解し準備・実践できるよう進めてきました。これは、今後介護職員が中心となり、口腔ケアや口腔リハビリテーションを推進するための土台作りとしての取り組みです。

ユニット移行に伴い、今年度からは介護職員が主体となって口腔ケア力の向上と口腔リハビリテーションに取り組む段階へのステップアップを進めます。これまで、委員会の専門職が指揮と準備を行っていた流れを、マネージャーやフロア・ユニットリーダーを中心に実践する体制に変更し、後方支援を他専門職と協働して行います。

6. 事故への対応・協力

転倒を中心に、事故分析検討会議に参加し、職員一丸となって原因究明に努め、早急な予防処置・是正処置が実行できるよう助言します。事故分析に際しては、ヒューマンエラーばかりに捉われず、システムやマニュアルから見た原因の探求により、職場の安全を支援します。昨年度は当該職員が事故報告書を提出してから、複数回やり直しの指示を受けるため、結果として発生した事故や対応の周知が1~2ヶ月後となるケースが目立ちました。特に、外傷や処置・受診を必要とするような事故事例に関しては、同一事故の再発予防のためにも、早急な報告と報告書の回覧・周知が必要だと感じます。報告の流れに関しても、委員会と共に検討していきます。また、昨年度は事故防止委員会への協力と職員教育のため、危険予知トレーニング（KYT）の研修指導を実施し、事故を未然に防ぐ視点を伝えることができました。今年度も事故防止に関する研修指導への協力をしていきます

7. 研修参加計画

セラピストとしての知識・技術の研鑽を継続し、事業所へ貢献できるよう研修会への積極的参加を継続します。また、引き続き各部署からの要望に沿って内部研修への協力を行います。

8. その他

昨年度から法人での「介護ロボット委員会」が設立され主担当をしてきました。今年度も法人の方針を確認しながら情報収集や情報交換活動をしていきます。また、開発段階の機器のモニターやアドバイス支援により社会貢献していきます。

また、「向日葵の会・機能訓練部会」も承認を頂き、部会長をさせて頂く事となりました。機能訓練指導員間での共通課題の解決、方向性や業務の統一、共同研修を一層進め、組織全体のサービスの向上に努めます。

| | | | | |
|---|-----------------|-----------|-----|---------|
| 事業名 | 特別養護老人ホームハピネス五戸 | | | |
| 作成者 | 部署名 | 特別養護老人ホーム | 役職名 | 介護支援専門員 |
| | 氏名 | 荒屋 恵子 | | |
| 年度目標 テーマ | ストレスのない自由な生活の支援 | | | |
| <p>昨年 12 月 21 日にハピネス五戸がユニット型特養へと生まれ変わりました。多床室から急に個室になったことで戸惑いを隠せない方や「さみしい、さみしい」と不安な表情をされる方も多くいらっしゃいました。</p> <p>その後、日々の積み重ねの中で 10 人の仲間同士として励ましあう姿や寝たきりの方にも優しく声を掛ける姿が見られるようになりました。そこで今年度はご入居者が自由にストレスを感じることなく、生活できる支援を提供していきたいと考えています。</p> <p>1、職員とご入居者との信頼関係の構築</p> <p>現在ハピネス五戸では経鼻の方が 5 名、胃瘻の方が 10 名おり、その中で寝たきりの方は 14 名となっています。たとえ会話ができなくても、その方の気持ちを汲み取ることができるような温かな態度で接することでプランに反映できるよう職員全員で周知していきたいと思えます。</p> <p>プラン作成についてはご入居者が穏やかな気持ちで生活できるよう、私自身が業務支援に入ることで自分の目で確認し取り組んでいきます。そして、自己研鑽に努めることができるよう研修への参加を積極的に行っていきます。</p> <p>また、新人職員を対象にしてケアプランの勉強会を実施することで、職員全員が介護計画を意識してケアに生かせるように努めます。</p> <p>2、ご入居者、ご家族参加によるカンファレンスの開催</p> <p>ご家族参加のカンファレンスは 5 年目となります。H26 年 2 月までで 13 家族の参加となり、前年の 20 家族の参加から大きく減少しています。ユニットに移行したことでご家族の意見や希望を直に聞けるよう、今後は事前にご家族の都合を確認しできるだけカンファレンスに参加していただけるようにしていきます。</p> <p>また、口腔リハビリ診療には検査を受ける方のご家族も同席され、歯科医師より適切なアドバイスを受け、プランに盛り込むことでより安全な経口摂取に繋げることができるよう今後も取り組んでいきたいと思えます。</p> | | | | |

| | | | | |
|--|---------------------|-------------|----|-------|
| 事業名 | 特別養護老人ホームハピネス五戸 | | | |
| 作成者 | 部署名 | 食事サービス（栄養士） | 職名 | 管理栄養士 |
| | 氏名 | 田村 優子 | | |
| 年度目標 テーマ | 食事（栄養）がもたらす効果を見つけよう | | | |
| <p>今年度、施設長方針の「利用される方が輝き続ける支援を!」をテーマとし、入居者・利用者と一緒に毎日の食事がもたらす効果を見つけていながら、利用される方の支援をさせていただきます。</p> <p>(1) 直営体制</p> <ul style="list-style-type: none"> ・直営のメリットである、細かい個人対応、急なオーダーやオーダー変更に対応できる点を活かしながら安全な食形態での提供を継続していきます。 ・食材については生鮮食品は地元業者から仕入れることで地産地消に努めます。 ・納品業者対応で、随時見積り依頼し、適正価格や新しい食材の確保に努めます。 <p>(2) メニュー内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホーム、デイサービス（3ヶ所）、配食での郷土料理、行事食の提供の充実に努めます。 ・旬（季節）に応じた食材を購入することにより、栄養、コスト、安全面での利点を活かした献立を提供していきます。 ・入居者・利用者に喜んでいただけるような新メニューやユニットでの利点を活かした献立を検討していきます。 <p><行事食の提供></p> <p>4月：開設記念日（お弁当）</p> <p>5月：端午の節句・母の日</p> <p>6月：父の日</p> <p>7月：七夕・土用の丑の日</p> <p>8月：お盆・夏祭り（屋台）</p> <p>9月：敬老の日（お弁当）・農神様の日（小豆料理）・彼岸中日（精進料理）</p> <p>10月：体育の日・恵比寿様の日（赤飯）</p> <p>11月：文化の日・介護の日（お弁当）・大師様の年取り（赤飯・大根汁・漬物）</p> <p>12月：恵比寿様の年取り（しとぎ）・大黒様の年取り（豆料理）・山の神様の年取り（白飯・魚汁）・八幡様の年取り（赤飯）・農神様の年取り（小豆ばつと）・冬至（かぼちゃ料理）・クリスマス・忘年会・大晦日（年越しそば）</p> <p>1月：おせち料理・七草がゆ・新年会</p> <p>2月：節分・建国記念日</p> <p>3月：ひな祭り・農神様の日（煮しめ）・彼岸中日（赤飯）</p> | | | | |

(3) 嗜好調査・残渣調査の実施

- ・定期的に嗜好調査、残渣調査を行い、嗜好・食事形態に合った残渣の少ない食事の提供に努めていきます。
- ・各ユニットごとに残渣量の把握表を作成し活用していきます。

(4) 口腔維持加算（Ⅰ・Ⅱ）、経口移行加算（口腔リハビリ）への取組み

- 2012年8月より入居者の摂食嚥下機能ならびに口腔衛生の維持・改善に取り組んでいます。
- ・毎月の口腔リハビリ診療記録と経過を基に多職種協働のもと継続して支援させていただきます。
 - ・食事に長く時間がかかることでの疲労により、食事量の減少をカバーするための栄養補助食品を継続し活用していきます。
 - ・追加嚥下や交互嚥下に必要なゼリー等の摂取で摂食機能障害で誤嚥のリスクがある方でも安全に配慮し、美味しい食事を提供できるよう支援していきます。

(5) 栄養ケアマネジメントの充実と低栄養の予防

- 2006年6月より開始し継続しています。
- ・栄養ケアマネジメントの様式を見直すことで業務を効率化していきます。
 - ・食事や栄養等、一人ひとりとの会話時間を増やし、低栄養の改善に繋げていきます。
 - ・多職種協働の基、褥瘡や脱水等、個人への観察力を高め早期発見に努めていきます。

(6) 給食会議の実施

会議での伝達、改善事項等意見交換で、より良い食事サービスに努めます。

(7) 備蓄食管理

緊急時に備えた食料対策として非常食を備蓄しています。備蓄スペースを確保し、各部署へ備蓄食の保管場所の周知を徹底していきます。

| | | | | |
|---|-----------------|------------|-----|------|
| 事業名 | 特別養護老人ホームハピネス五戸 | | | |
| 作成者 | 部署名 | 食事サービス（厨房） | 役職名 | リーダー |
| | 氏名 | 加賀 千恵子 | | |
| 年度目標 テーマ | 生活の楽しみとなる食事作り | | | |
| <p>昨年度ユニット型特養へ移行したことにより食事提供が大きく変化し、ご入居者の食事風景が見えない寂しさを感じながらすすめてきました。ユニット職員と協働し、ご入居者の状態とニーズの把握に努めていきます。又、引き続き口腔リハビリに参加し、食事形態の再検討など円滑な食事提供に取り組んでいきます。</p> <p>在宅サービスご利用者の生活の楽しみである食事内容の充実にも努めていきます。</p> <p>1、ユニット型個別ケアへの対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別対応への柔軟性…食事届け以外でもニーズに合わせ柔軟な対応できるよう、ユニット職員、管理栄養士と連携を図って行きます。 ・口から安全に食べる事への対応…口腔リハビリに年間を通して全スタッフが参加出来るようします。個々の状態を把握、理解し食事作りが出来るように努めます。 ・ソフト食の取り組み…1品（主菜）から作れるように勉強会を積極的にすすめていきます。 <p>2、在宅サービスへの対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通所介護のご利用者は食事を楽しみに来られる方が多いので、見た目で感動出来るような食事提供に取り組めます。且つ、食事に対する意見を聞き個々のニーズに対応していきます。 <p>3、配食への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何故配食が必要かを全スタッフが理解しつつ、配食担当と連携を取りミスをしないうにします。 | | | | |

| | | | | |
|---|--------------------------------|------------------|-----|------|
| 事業名 | ハピネス五戸 | | | |
| 作成者 | 部署名 | 認知症対応型 共同生活介護 | 役職名 | リーダー |
| | 氏名 | 長峯 純子 | | |
| 年度目標 テーマ | Never give up ! ～笑顔を引き出す努力～ | | | |
| <p>利用者の真の希望や想いに寄り添い、笑顔に繋がるケアを心がけ、支援する側も笑顔でいられる事業所として、実践・活動していきます。</p> <p>1. ご利用者・ご家族の笑顔のために</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近況報告としての「ハピネス通信」送付を継続し、ご家族へ利用者の元気な笑顔を届けていきます。 ・行事や面会の折にご家族との写真撮影を行い、ご家族とのコミュニケーションのきっかけ作りに活用していきます。 ・ご家族が参加しやすい行事を増やし、計画していきます。 <p>2. 地域に笑顔の還元を</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域行事への参加・訪問ボランティア依頼を継続し、気軽に立ち寄れる施設のアピールをしていきます。 ・空床の改善や災害時の協力等、地域密着型施設間での情報交換を行えるよう、近隣施設との交流の働きかけを行っていきます。 <p>3. スタッフが笑顔でいられるように</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりの技術向上のため、外部研修や資格取得等、積極的に関わっていきます。 ・特養の増改築を活用し、個浴見学や体験等の機会を作り、実施していきます。又、ユニットとの交流で刺激を受け、モチベーションを維持し、楽しく働けるようにしていきます。 <p>4. 稼働率の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・状態の観察ポイントを習得し、早期発見・対応で、稼働率98%の維持に努めます。 ・消費税増税のため、食材費等、ご利用者にご迷惑をかけないよう節約に努めます。 | | | | |

| | | | | |
|---|--------------------|--------|-----|------|
| 事業名 | ケアステーションハピネス五戸 | | | |
| 作成者 | 部署名 | 居宅介護支援 | 役職名 | リーダー |
| | 氏名 | 境 秀明 | | |
| 年度目標 テーマ | 専門性の向上を図り、地域ケアを支える | | | |
| <p>利用者入退院時の訪問により、病院や関係機関との情報交換や意見交換も積極的に行われ、スムーズな在宅支援へ繋がりました。今年度も引き続き関係機関と協働し支援していきます。</p> <p>職員の資質向上については、各研修会へ積極的に参加し、定期的な居宅ミーティングを通じ、情報交換や意見交換する事により、介護支援専門員の実務能力の向上を図ります。</p> <p>地域貢献については、地域行事参加や勉強会開催により、介護に関する知識や技術、介護者の健康管理等について学ぶための場を提供したいと思います。</p> <p>1 介護支援専門員の資質の向上</p> <p>①年度を通じ計画的に研修会を実施します。行政機関主催の集団指導や研修会、介護支援専門員協議会などの研修会に参加し、伝達研修や情報交換する事で専門職としての知識を深めます。</p> <p>②毎週、処遇困難ケース等の問題点及び改善方策の検討や情報交換を行い、スタッフ全体で情報を共有し、事業所として問題解決に努めます。</p> <p>③同法人内の居宅介護支援事業所との情報交換や勉強会を引き続き実施し、地域の状況やニーズを考える機会を持ち、相互のレベルの向上を図ります。</p> <p>2 関係機関との連携強化</p> <p>①入退院時や状態の変化に合わせ、主治医や医療系のサービス事業所と早急に連携を図り、積極的に情報交換や意見交換を行い、計画の見直しやサービス調整を行います。</p> <p>②困難事例の検討や対応については、その都度地域包括支援センターや関係機関へ相談し、情報交換や連携を密に行い連携し支援していきます。</p> <p>③定期の地域ケア会議やケアマネ協議会の研修に参加し、地域の福祉事業所等と情報交換を行い、地域のニーズを把握し支援に繋がります。</p> <p>3 地域貢献</p> <p>①各地域での勉強会開催や行事参加により勉強会を開催し、地域住民に介護の知識や技術をわかりやすく提供します。また婦人会など各種団体とのネットワークを構築し、地域の福祉力向上に繋がります。</p> | | | | |

| 2014年度 居宅介護支援事業所ハピネス五戸 事業計画&予算案 | | | | | | | | | | | | | |
|---------------------------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|------------|
| 2014年度 | | | | | | | | | | | | | |
| ケアM人数 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 計 |
| プラン件数 | 1~39 | 6.30人 | 6.30人 | 6.30人 | 6.30人 | 6.30人 | 6.30人 | 6.30人 | 6.30人 | 6.30人 | 6.30人 | 6.30人 | |
| | 要介護1、2 | 113 | 114 | 115 | 117 | 118 | 117 | 116 | 115 | 118 | 118 | 117 | 1,395 |
| | 要介護3、4、5 | 92 | 92 | 93 | 93 | 92 | 93 | 92 | 93 | 94 | 93 | 94 | 1,114 |
| | 40~59 | | | | | | | | | | | | |
| | 要介護1、2 | | | | | | | | | | | | |
| | 要介護3、4、5 | | | | | | | | | | | | |
| | 60~ | | | | | | | | | | | | |
| | 要介護1、2 | | | | | | | | | | | | |
| | 要介護3、4、5 | | | | | | | | | | | | |
| | 小計 | 205 | 206 | 208 | 210 | 210 | 210 | 208 | 210 | 209 | 211 | 211 | 211 |
| 予防支援 | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 総プラン数 ※介護+ (予防÷2) | 65 | 65 | 64 | 64 | 65 | 64 | 63 | 63 | 62 | 61 | 60 | 60 | 756 |
| 初回加算 | 238 | 239 | 240 | 242 | 243 | 242 | 240 | 242 | 240 | 242 | 241 | 241 | 2,887 |
| 居宅介護支援費 | 2 | 1 | 2 | 2 | 2 | 2 | 1 | 1 | 2 | 2 | 2 | 1 | 20 |
| 介護予防支援費 | 2,337,170 | 2,347,220 | 2,370,330 | 2,390,430 | 2,387,420 | 2,390,430 | 2,367,320 | 2,390,430 | 2,383,390 | 2,400,480 | 2,400,480 | 2,403,490 | 28,568,590 |
| 初回加算費 | 235,300 | 235,300 | 231,680 | 231,680 | 235,300 | 231,680 | 228,060 | 228,060 | 224,440 | 220,820 | 217,200 | 217,200 | 2,736,720 |
| 特定事業所加算 (I) | 6,000 | 3,000 | 6,000 | 6,000 | 6,000 | 6,000 | 3,000 | 3,000 | 6,000 | 6,000 | 6,000 | 3,000 | 60,000 |
| 特定事業所加算 (II) | | | | | | | | | | | | | |
| 入院時情報連携加算 (I) | 615,000 | 618,000 | 624,000 | 630,000 | 630,000 | 630,000 | 624,000 | 630,000 | 627,000 | 633,000 | 633,000 | 633,000 | 7,527,000 |
| 入院時情報連携加算 (II) | 6,000 | 6,000 | 6,000 | 6,000 | 6,000 | 6,000 | 6,000 | 6,000 | 6,000 | 6,000 | 6,000 | 6,000 | 72,000 |
| 退院・退所加算 | 9,000 | 9,000 | 6,000 | 9,000 | 9,000 | 9,000 | 6,000 | 9,000 | 9,000 | 6,000 | 9,000 | 9,000 | 90,000 |
| 認知症加算 | | | | | | | | | | | | | |
| 独居高齢者加算 | 105,000 | 105,000 | 105,000 | 105,000 | 105,000 | 105,000 | 105,000 | 105,000 | 105,000 | 105,000 | 105,000 | 105,000 | 1,260,000 |
| 収入合計 | 3,313,470 | 3,323,520 | 3,349,010 | 3,378,110 | 3,378,720 | 3,378,110 | 3,339,380 | 3,371,490 | 3,360,830 | 3,377,300 | 3,376,680 | 3,376,680 | 40,323,310 |

| | | | | |
|---|-----------------------------|---------|-----|------|
| 事業名 | ケアステーションハピネス五戸 | | | |
| 作成者 | 部署名 | 訪問介護 | 役職名 | リーダー |
| | 氏名 | 佐々木 未央子 | | |
| 年度目標 テーマ | 「あなたが来てくれてよかった！」と言われるサービス提供 | | | |
| <p>家族と同居の利用者の大半は日中独居で、一人暮らしの利用者も子供達から「そろそろ一緒に暮らそうと」声をかけられていても、「動けるうちはまだ世話になりたくない」とそれぞれ不安を抱えながら精一杯暮らしています。どの方も長年住み慣れた自宅でできるところ（最期）まで暮らしたいとの思いがヒシヒシと伝わってきます。</p> <p>適切な訪問介護サービスを提供して、今何に困っているのか、どのような不安を抱いているのかをキャッチして、関連事業所と連携して、その人らしく最後まで輝いて暮らしていけるよう支援します。</p> <p>1 利用者との信頼関係の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の人権と人格を尊重します。 ・利用者の話しに傾聴して、核心部分をスタッフ間で分析し、関連事業所と連携を取りながら支援します。 ・事業所内・外部研修・自主研修に参加して介護技術の向上を図ります。学んだ事を伝達研修して訪問介護員のレベルアップに繋がります。 ・定期的なスタッフミーティングを開催して、業務の確認・情報の共有・研修で学んだ内容を伝達研修して統一したサービスを行います。 ・訪問介護員を確保して、サービスの多様なニーズに対応していきます。 <p>2 関係機関との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よりよいサービス提供に繋げるため、担当者会議への参加、家族や訪問時得た情報を関係機関・支援事業所へ情報提供して、情報の共有を図ります。 <p>3 稼働率の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訪問介護員の確保が難しく、サービス提供責任者 2 名、ヘルパー 3 名の現状で、要介護者 32 名、要支援者 10 名の利用者人数を維持します。 ・訪問介護員獲得に努力し、稼働率アップに繋がります。 ・当法人や他居宅介護支援事業所と定期的に交流を図り信頼関係を保っていきます。 | | | | |

2014年度 ハピネス五戸 事業計画

| 2014年度 訪問介護事業所 ハピネス 事業収支 | | | | | | | | | | | | | 単位:千円 |
|--------------------------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-------|
| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 年合計 |
| ハピネス居宅ケアプラン数(介護) | 23 | 23 | 23 | 23 | 23 | 23 | 23 | 23 | 23 | 23 | 23 | 23 | 276 |
| ハピネス居宅ケアプラン数(介護予防) | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 72 |
| 訪問介護利用者数(介護) | 30 | 30 | 30 | 30 | 30 | 30 | 30 | 30 | 30 | 30 | 30 | 30 | 360 |
| 訪問介護利用者数(介護予防) | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 120 |
| サビズ提供責任者数 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 24 |
| 常勤ヘルパー数 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 36 |
| 登録ヘルパー実働数 | | | | | | | | | | | | | |
| 稼働時間 | 160 | 160 | 160 | 160 | 160 | 160 | 160 | 160 | 160 | 160 | 160 | 160 | 1920 |
| 稼働時間 | 300 | 300 | 300 | 300 | 300 | 300 | 300 | 300 | 300 | 300 | 300 | 300 | 3600 |
| 稼働時間 | 460 | 460 | 460 | 460 | 460 | 460 | 460 | 460 | 460 | 460 | 460 | 460 | 5520 |
| 総時間数 | 1020 | 1020 | 1020 | 1020 | 969 | 944 | 944 | 1020 | 1071 | 1071 | 1020 | 1071 | 12190 |
| 訪問介護(身体)~30未満 | 121 | 97 | 89 | 113 | 125 | 125 | 129 | 141 | 141 | 141 | 101 | 154 | 1477 |
| 訪問介護(身体)30~1h | 21 | 19 | 25 | 19 | 19 | 23 | 23 | 23 | 23 | 23 | 19 | 21 | 258 |
| 訪問介護(生活援助)~45分未満 | 295 | 300 | 293 | 302 | 302 | 295 | 300 | 295 | 248 | 248 | 208 | 248 | 3334 |
| 訪問介護(生活援助)~45分以上 | 81 | 85 | 85 | 85 | 81 | 81 | 88 | 26 | 26 | 26 | 26 | 26 | 716 |
| 訪問介護(身体1生1) | 5 | | 5 | | 5 | 5 | 5 | | 5 | 5 | | 5 | 30 |
| 訪問介護(身体2生1) | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 60 |
| 訪問介護(身体2生2) | | | | | | | | | | | | | |
| 収入 | | | | | | | | | | | | | |
| 介護予防(I)月 | 24 | 24 | 25 | 24 | 25 | 24 | 25 | 24 | 25 | 24 | 25 | 24 | 293 |
| 介護予防(II)月 | 147 | 147 | 147 | 147 | 147 | 147 | 147 | 147 | 147 | 147 | 147 | 147 | 1764 |
| 介護予防(III)月 | 78 | 78 | 78 | 78 | 78 | 78 | 78 | 78 | 78 | 78 | 78 | 78 | 936 |
| 特定事業所加算(I) 加算 | | | | | | | | | | | | | 0 |
| 特定事業所加算(II) 加算 | 180 | 178 | 177 | 179 | 176 | 172 | 174 | 176 | 177 | 176 | 163 | 178 | 2106 |
| 特定事業所加算(III) 加算 | | | | | | | | | | | | | 0 |
| 初回加算 | 2 | | | | | 2 | | | | | | | 4 |
| 介護予防初回加算 | | | | | | | | | | | | | 0 |
| 緊急時訪問介護加算 | | | | | | | | | | | | | 0 |
| 合計 | 1979 | 1953 | 1949 | 1972 | 1932 | 1896 | 1918 | 1935 | 1946 | 1939 | 1792 | 1957 | 23168 |

| | | | | |
|---|------------|--------|-----|------|
| 事業名 | ハピネス五戸 | | | |
| 作成者 | 部署名 | 訪問入浴介護 | 役職名 | リーダー |
| | 氏名 | 三浦 千賀子 | | |
| 年度目標 テーマ | 在宅での入浴の可能性 | | | |
| <p>体力の低下、病気の進行で外出の困難な方などが家族の協力、医療の発達によって在宅生活を継続され、住みなれた自宅で看取り介護ができるようになっていますが、在宅で入浴することは困難です。このような方々が入浴することができ心身共に清潔に、家族と共に笑顔になれる時間を提供できるサービスを目指していきます。</p> <p>1 家族を含めたケア</p> <p>在宅での生活継続に不安や疑問があれば相談・助言し、何気ない会話も大切に信頼関係を保ち、サービス提供中は共に笑顔でリラックスした時間が送れるようにすすめます。</p> <p>2 医療との連携</p> <p>看取りの方・医療依存度の高い方の依頼には看護師を中心に主治医・訪問看護等との連携を密に図り、家族・利用者共に安心して入浴できるよう取り組みます。</p> <p>3 迅速な対応</p> <p>短期間の利用や急な利用依頼へも迅速に対応できるよう体制を整えます。感染症の方への対応は物品の準備も含め体制が整っているため、新しい情報も取り入れ、いつでも対応できるようすすめます。また、この取り組みを実績報告の文書に載せるなどし、他事業所へも伝えていきます。</p> <p>4 困難地域への対応</p> <p>車輛が入っていくには難しいと思われる地域や場所からの依頼にはケアマネージャー・家族等との連携・相談を密に図り、必要な物品があれば購入なども前向きに検討していきます。</p> | | | | |

| | | | | |
|---|---------------------------|--------|-----|------|
| 事業名 | ハピネス五戸 | | | |
| 作成者 | 部署名 | 通所介護 | 役職名 | リーダー |
| | 氏名 | 三浦 千賀子 | | |
| 年度目標 テーマ | 「個々の状態に合わせたサービスで、自立を引き出す」 | | | |
| <p>特養ユニット化が、予定より遅れ、少しずつ準備は進めていきましたが、昨年度の目標には達しませんでした。今年度は、介護予防と要介護利用者との住み分けを進め、それぞれの空間で、個々の状態に合ったサービスを提供します。</p> <p>1 1日平均33名 平均介護度2.5を維持します。</p> <p>(1) 要介護のサービス費が消費税アップに伴い、一部改正されます。 介護度別に5~9単位多くなりますが、スタッフ不足の理由もあり、サービス提供時間を、介護度が高く送迎時間がかかる地域の利用者は、5~7時間の検討も視野に入れながら収入は維持していきます。</p> <p>2 介護予防利用者は、状態に合わせたサービスを提供し自立を引き出すようすすめます。</p> <p>(1) お茶を自分で入れ、自由に飲める空間と、工芸や読書が出来る場所を設け、好きな時間に、好きな事が出来るよう環境を整えます。</p> <p>(2) 要介護利用者との住み分けで、介護予防利用者の業務の分担や時間割を作成します。</p> <p>3 要介護利用者は、団塊の世代にも対応できる空間を工夫します。</p> <p>(1) プライバシーを確保し、パーティションを設置し落ち着いてゆっくり過ごせる場所や娯楽で遊べる空間を設け、一人で楽しめる場所作りを検討します。</p> <p>(2) 機能訓練担当者が、マイクロタイザー使用者など見守りしながらROM訓練が出来るよう一角に機能訓練コーナーを作ります。</p> <p>(3) ベット数を増やし、重度の利用者が安心して過ごせる場所を整えます。</p> <p>4 地域や関係機関との連携を図り、協力を維持します。</p> <p>(1) 今年度も実習生の受け入れを行います。</p> <p>(2) 介護予防利用者の空間で、一緒に手工芸や談話ができるボランティアを検討します。</p> | | | | |

| | | | | |
|---|---------------|------------|-----|------|
| 事業名 | ハピネス五戸 | | | |
| 作成者 | 部署名 | 認知症対応型通所介護 | 役職名 | リーダー |
| | 氏名 | 三浦 千賀子 | | |
| 年度目標 テーマ | 「その人らしく過ごす為に」 | | | |
| <p>入院や転倒から状態が低下し、車椅子になった方も数名みられるようになりました。又、膝が痛いなどの理由から畳を使用する利用者が少なくなっています。コタツを置いたり、家庭的な雰囲気を保ってきましたが、利用者の状態に合わせた環境に替えていきます。</p> <p>1 1日平均9名 平均介護度3.0を目指します。</p> <p>(1) 認知症を在宅で介護する家族の負担の大きさから、施設入所や定期的な短期入所を利用する方が多くなっています。利用者が増えても上記理由で人数に変動がみられる為、他居宅事業所への働きかけを続け、常に利用者獲得をすすめていきます。</p> <p>2 個々の状態に合わせ配置替えし、環境を整えます。</p> <p>(1) 畳部屋を狭くし、ソファやテーブルを増やし車椅子利用者の方も椅子に座り、ゆったりとくつろげる空間を増やします。又、ベットも1台置き、膝痛の方や状態低下した方も休める所を整えます。</p> <p>(2) 日常生活動作が安定している方は、昼食準備の役割や、春からの畑作業の取組みを行い、車椅子利用者や認知症が重度の方は、さまざまコミュニケーション方法を取り入れ、笑顔が多くみられるよう取組みます。</p> <p>3 個々の認知症症状への理解を深めます。</p> <p>(1) その日に話し合わなければならない問題がおきた時は、ミーティング等で話し合い、対応を検討しますが、数ヶ月に1回事例検討会を開催し、個々の症状に合わせたサービスを提供できるよう勉強し、家族にも助言できるようにすすめます。</p> <p>4 自治体への協力を続け、地域住民へのサービスの取組みを伝えていきます。</p> <p>(1) 認知症キャラバンメイトの協力を行い、認知症についての知識を広めていきます。</p> | | | | |

| | | | | |
|--|------------------|-------|-----|------|
| 事業名 | 通所介護コスモス | | | |
| 作成者 | 部署名 | コスモス | 役職名 | リーダー |
| | 氏名 | 角濱 圭子 | | |
| 年度目標 テーマ | 住み慣れた地域で自分らしい生活を | | | |
| <p>利用者個人の有する能力と可能性を引き出し、尊重し、維持していくことを目標に、在宅での生活がいきいきと張りのある豊かな毎日となるよう身体面・精神面・社会参加面等からの支援を行います。</p> <p>また、地域の学校や団体とも協力し、交流を図り、事業所への理解を深めてもらえるよう取り組んでいきます。</p> <p>1 1日平均 26.5 人（個人契約含）、平均介護度 2.4 を目標とし活動します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別訪問を継続し、事業所の理解をしていただくと共に、必要なサービスがスムーズに提供できるようにしていきます。 ・身体障害者で支援が必要な方は、福祉保険課と相談し受け入れを行います。 ・地域の学校、保育園、商店、居宅支援事業所へコスモス便りを届け、事業所の紹介をしていきます。 <p>2 自分のできることを行う環境を整え、利用者の「心の健康」「身体の健康」の維持・向上を支援します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の今できている能力を把握し、過剰な支援を行わないようにします。 ・情報の共有をし、スタッフ全員が同じ支援を行えるよう取り組みます。 ・福祉用具を購入し、利用者が自力で行える環境を整えます。 ・季節感を大切に、地域での行われている行事等を企画し、実施していきます。 ・楽しみながらレクリエーションが行えるよう工夫していきます。 ・重度の方でも、寝ているだけでなく、楽しく過ごせるよう取り組んでいきます。 <p>3 家族との協力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族の利用希望があった際は、臨機応変に対応していきます。 ・送迎の際など、できるだけ家族とのコミュニケーションを図り、利用時の感想や意見を直接聴取し、ケアへ反映させていきます。 ・提供していただく食材は、おやつとして利用者へ還元していきます。 | | | | |

4 地域との連携

- ・地域のボランティアの受け入れを継続していきます。
- ・自治会活動へ積極的に取り組んでいきます。
- ・地域の行事等の情報をいただき、必要時は地域へ出向いていきます。
- ・コスモス感謝祭のあり方を見直していきます。

5 学習療法を活用し、支援していきます。

- ・日報の情報をケースへ反映させ、個別ケアに取り組んでいきます。
- ・利用者、家族、地域へ学習療法の紹介をしていきます。

6 利用者の想いに応えるために

- ・気持ちよく過ごしていただけるよう、環境整備をおこないます。
- ・資格取得や外部、内部研修参加にてスキルアップをし、質の良いサービスが提供できるよう取り組みます。

| | | | | |
|--|-----------------|-------|-----|------|
| 事業名 | 通所介護ルピナス | | | |
| 作成者 | 部署名 | ルピナス | 役職名 | リーダー |
| | 氏名 | 村田 智子 | | |
| 年度目標 テーマ | 自分らしい安心した生活のために | | | |
| <p>比較的軽度の利用者が多い中、新規の利用者や長く利用されている方など重度の利用者が増えてきています。程度の違いはあるものの、住み慣れた環境や自宅で安心して生活が出来るよう、個々の状態や気持ちに寄り添った支援に取り組んでいきたいと思ひます。また、今年度は地域との新たな交流の機会が持てるよう、地域にある施設としての役割を意識しながら活動していきたいと思ひます。</p> <p>1 稼働率の向上 1日平均 22人(個人契約含)、平均介護度 2.1 を目標とし活動していきまひす。 ・各居宅介護支援事業所へ出向き、月末の報告書やルピナス通信を活用し、情報交換や施設のPRを行いながら関わりを維持していきまひす。 ・サービス提供困難者への柔軟に対応できる体制を継続していきまひす。</p> <p>2 利用者・家族の受容 ・前年度、実施できなかった意識調査を行ない、利用者や家族のニーズを把握し、余暇活動や、介護予防のグループ活動に反映されるようすすめていきまひす。 ・気持ちよく利用して頂く為、環境美化・整備に取り組まひまひす。 ・重度の方もゆったり安心して過ごす事が出来るよう環境を整えていきまひす。 ・学習療法では、個々の学習者の状況や意見交換などを行ないながら、学習者一人一人が楽しんで学習出来るよう支援していきまひす。</p> <p>3 職員のスキルアップ ・報告、相談を忘れず、毎日のミーティング等で情報交換・共通認識を図りながら一つのチームとしての支援に努めまひす。 ・業務分担を明確にし、一人一人の役割を遂行するだけでなく、職員同士関心を持ち声を掛け合い、協力しあひまひす。 ・積極的に研修会や勉強会に参加し、専門職として知識の向上に努め、多様なニーズへの対応ができるようにしていきまひす。</p> | | | | |

4 地域貢献・交流

- ・ルピナス通信を活用し地域へのPR活動に努めます。
- ・農閑期には無料体験を実施したり、地域の行事に参加するなど自治会や婦人会の方との交流を図ります。

| 事業名 | ハピネス五戸 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|------------------|---------|-----------------|----------|--|-----|----|----|----------------|-------|------|-----------|-------|-------|---------|-------|------|-----|-------|-------|-----------------|
| 作成者 | 部署名 | 五戸町委託事業 | 役職名 | 在宅マネージャー | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 氏名 | 石田 律子 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 年度目標 テーマ | 自宅で暮らす高齢者を応援します。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>高齢化に伴い独居高齢者や高齢者世帯の増加が、顕著に表れています。五戸町も高齢者のみとなっている地域もあり、交通の不便から孤立化が心配されます。</p> <p>高齢者が住み慣れた地域で生活するために、町からの委託を受けて実施している事業を的確に実施する事で、地域住民の安心感や生活意欲に繋がられるようにします。</p> <p>1 訪問事業、総合相談</p> <p>五戸町から依頼された対象者や、地域住民又は関係機関からの情報を得て、高齢者の状況を訪問により把握し報告するとともに、必要時には助言や他の関係機関へ繋げるなど、早期の対応を行います。</p> <p>担当地域 ・旧町内（上大町、新町、荒町を除く） ・川内地区 ・浅田地区 ・豊間内地区</p> <p>2 転倒骨折予防教室</p> <p>定期参加が定着してきており、地域の情報交換もできる事で教室を楽しみにしている参加者も多くなっています。一方参加者が高齢化してきているため、開催には送迎を希望する利用者や、介護保険サービスを利用しながらの参加者もいます。</p> <p>来年度は介護予防制度の改正もあり、方向性を町に確認しながら進めていきます。</p> <p>①地域型</p> <p>年間合計 48 回</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>実施日</th> <th>地区</th> <th>場所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">毎月各 1 回 金曜日</td> <td>第 1 週</td> <td>浅田地区</td> <td>浅水活性化センター</td> </tr> <tr> <td>第 2 週</td> <td>旧町内地区</td> <td>五戸町立公民館</td> </tr> <tr> <td>第 3 週</td> <td>川内地区</td> <td>瑞穂館</td> </tr> <tr> <td>第 4 週</td> <td>豊間内地区</td> <td>豊間内地区コミュニティセンター</td> </tr> </tbody> </table> | | | | | | 実施日 | 地区 | 場所 | 毎月各 1 回 金曜日 | 第 1 週 | 浅田地区 | 浅水活性化センター | 第 2 週 | 旧町内地区 | 五戸町立公民館 | 第 3 週 | 川内地区 | 瑞穂館 | 第 4 週 | 豊間内地区 | 豊間内地区コミュニティセンター |
| | 実施日 | 地区 | 場所 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 毎月各 1 回 金曜日 | 第 1 週 | 浅田地区 | 浅水活性化センター | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 第 2 週 | 旧町内地区 | 五戸町立公民館 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 第 3 週 | 川内地区 | 瑞穂館 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 第 4 週 | 豊間内地区 | 豊間内地区コミュニティセンター | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

②自治会型

年間合計 25 回

自治会に働きかけ年間を通して定期的を開催している地区や、地域の事情で年 1 回～数回のみで開催になる地区等ありますが、五戸町内の各地区に出向き介護予防の必要性を促していきます。

教室が定着している地区の回数を調整し、新しい地区の開拓も検討します。

| 地 区 | 場 所 | 地 区 | 場 所 |
|-------|--------------------|--------|----------------------|
| 川原町 | 川原町自治会館 | 下豊川 | 下豊川自治会館 |
| 上市川下区 | 上市川下区公民館 | 上豊川 | 上豊川自治会館 |
| 根 前 | 根前自治会館 幸ノ神ふれあい館 | (新規地区) | (自治会長又は保健協力員 と相談) |

3 配食サービス

五戸町内の独居又は夫婦世帯の高齢者に対して介護支援専門員等、関係機関と連携を取りながら、食事の提供と安否確認を含む見守りを行うことで、地域の高齢者が自立した生活を送れるよう促します。

- ①個々に合わせた食事形態で、栄養バランスの取れた食事の提供。
- ②配達時、顔を合わせて届ける事で安否確認と異常の早期発見。

| | | | | |
|---|-----------------|-------|-----|----------|
| 事業名 | 特別養護老人ホームハピネス五戸 | | | |
| 作成者 | 部署名 | 事務 | 役職名 | 事務マネージャー |
| | 氏名 | 石渡 敦志 | | |
| 年度目標 テーマ | 笑顔・考動・瞬発力 | | | |
| <p>ハピネス五戸は従来型特養からユニット型特養へ移行し大きな環境の変化の中にあり、来客者も数多く見られるようになってきています。スムーズな対応ができるよう、もう一度初心に帰り笑顔で気持ち良く皆様を迎えられる事務を目指します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 人事管理計画 <p>資格取得者への援助や有資格者・研修修了者の把握を行い、適正な職員配置と安定した人件費管理に努めていきます。</p> <p>労務管理についてはいつでも誰でも迅速に対応できる体制を維持し、労働環境の改善や見直しを行っていきます。</p> <p>ハローワーク等による各種制度にて助成金等を活用し、事業所の状態に見合った職員募集を行っていきます。</p> 防災訓練及び地域との連携 <p>防火管理者と連携を図り、連絡網の訂正や避難訓練等へ積極的に関与していきます。災害協力隊との親交も深め、災害時には協力して頂けるような体制作りを継続していきます。</p> 建物管理・修繕計画 <p>増改築後の設備使用方法の確認・把握を行い、故障やトラブル時にも対応できるよう対応業者を把握し、瞬時に動ける体制を整えていきます。</p> <p>大規模な修繕にならないよう、各事業所との連携を強化し月一回の情報収集に努めてます。</p> 当直管理 <p>当直業務を把握し、スムーズに業務が遂行できるよう日中帯の引き継ぎを確実にを行い、情報の共有と職員へ周知していきます。</p> <p>夜間の急なトラブルや災害等へも対応できる体制を継続していきます。</p> | | | | |

5. 各種申請・検査等

体制や人員配置、加算等に変更が生じた場合等は事業所と連携の上、速やかに行います。

施設内の各種検査を把握し実行していきます。

6. 業者対応への取り組み・消耗品管理

事業所毎の物品管理を継続するとともに、各事業所へも収支状況について情報を提供していきます。消費税増額への対応と経費削減を常に意識し、定期的な業者の選定を実施していきます。

7. 会計全般・予算管理

日々の業務を完結させることにより、収支状況が常に把握できる状態を継続していきます。また、新会計基準に対応できるように知識を深めていきます。

8. フロント業務向上への取り組み

来客者が気持ちよく来園されるように、施設の顔である玄関周りの整備、来客者への笑顔での迅速な対応を行っていきます。

9. 環境整備

業者・ボランティアなども視野に入れ、施設敷地内の草木の手入れを定期的に行い、地域からも気持ちよく清潔な施設として来園して頂くよう努めます。

10. 掲示物管理

掲示期間・掲示責任者を明確にし、さらに掲示期間を把握しながら最新の情報を提供していきます。

11. その他

学習療法・口腔リハ・看取りなど、入居者・家族・職員が満足し、達成感を味わえるように強力な支援体制の整備に努めます。

〔防災計画〕

各部署担当者との連携を密にし、訓練計画立案等にも参加して行きます。また、職員一人ひとりの防災意識を高めていくため、防火管理者の増員を図ります。

また、火災だけでなく地震等の場合にも、スムーズに対応できるよう停電時や断水時の行政との対応も含め、マニュアルの整備・見直しをすすめていきます。

1. 行動計画

| 実施月 | 訓練内容 |
|-----|---|
| 4月 | ・避難訓練マニュアル見直し、避難経路等確認 (各部署担当者合同) ・防火設備について勉強会 |
| 5月 | 災害協力隊夜間想定合同避難訓練(消防合同) 災害協力隊総会 ルピナス避難訓練 |
| 6月 | 日中想定避難訓練(ホーム、ハピネスデイ) コスモス避難訓練 |
| 9月 | 消防設備点検 夜間想定避難訓練(GH) |
| 10月 | 災害協力隊夜間想定合同避難訓練(消防合同) 災害協力隊懇談会 |
| 11月 | ハピネスデイ避難訓練 コスモス避難訓練 |
| 2月 | ルピナス避難訓練 |
| 3月 | 消防設備点検 |

2. 担当者

| 防火管理者 | ハピネス五戸 | コスモス | ルピナス |
|-------|-----------------------------------|------|------|
| | 立花 力 | | |
| 各担当者 | 〈ホーム〉 江渡 佳久 〈GH〉 大下内裕也 〈デイ〉 | | |

- ・担当者は防火管理者を補佐する。
- ・担当者はそれぞれの訓練日程・避難経路の確保等、リーダーと相談し円滑にすすめる。

2014 年度 委員会

【 行 事 】

| | |
|----------------------------|----------|
| 夏祭り 月 日 () | 主担当 副 |
| 産業と文化祭り 月 日 () ~ 日 () | 主担当 副 |
| 地域貢献事業 月 日 () | |

【 委員会 】

| 委員会名 | 役 割 | 入所系 | 在宅系 |
|--|--|-----|-------|
| 事故防止委員会 | <ul style="list-style-type: none"> ・介護事故の発生の防止及び再発の防止を検討する。 ・分析や対応策の検討実施、評価、報告書及び経過の記録 等 | ◎ | 各事業所で |
| 感染症・食中毒の予防およびまん延防止委員会 | <ul style="list-style-type: none"> ・感染症及び食中毒の予防およびまん延の防止のための対策を検討する。 | ◎ | 各事業所で |
| 学習療法委員会 | <ul style="list-style-type: none"> ・正しい知識取得のための研修会。 ・各事業所への普及活動。 | ◎ | |
| 研修委員会 | <ul style="list-style-type: none"> ・全体研修の企画 (外部講師の依頼等) ・年1回以上 ・救急救命講習 | ◎ | |
| 上記委員会については五戸地区全体コーディネーターとして(コーディネーター委員)を置く | <ul style="list-style-type: none"> ・各書式雛型の見直し ・報告書等の管理及び周知 ・必要時の委員会への出席、開催の促し | ◎ | |

【 委員会（ホーム） 】

| 委員会名 | 役 割 | 委 員 |
|----------------|--|-----|
| じょくそう防止 委員会 | <ul style="list-style-type: none"> ・じょくそう発生の予防 ・介護職員等への継続的な助言、研修等 | ◎ |
| 権利擁護委員会 | <ul style="list-style-type: none"> ・身体拘束廃止に向けての取り組みと評価 ・虐待防止 ・職員への研修会等 | ◎ |
| 看取り委員会 | <ul style="list-style-type: none"> ・看取り介護の体制作り ・個人に合わせた終末期ケアの検討 ・家族へのフォロー等、看取りに関する研修企画 | ◎ |
| 口腔リハビリ委員会 | <ul style="list-style-type: none"> ・医師の、摂食・嚥下機能評価を元に個人に合った口腔リハビリについて検討 ・口腔リハビリに関する研修企画 | ◎ |
| 排せつ委員会 | <ul style="list-style-type: none"> ・快適な生活に向けて（プライバシーって何？） ・人権について考える ・個人に合った排せつ方法の検討 | ◎ |
| 広報委員会 | <ul style="list-style-type: none"> ・家族や地域へ、様々な情報の提供 ・特養としての広報誌の作成 | ◎ |
| 医療行為安全委員会 | <ul style="list-style-type: none"> ・対象となる医療行為が適正に行われる事を目的とする。 ・医療関係者との連携 ・介護職員の喀痰吸引の為の勉強会開催 ・手技の確認 | ◎ |

〔各種会議〕

| | 会議名 | 開催日 | 出席対象者 | 目的 | |
|---|---------|------------|---|--|----------------------|
| ① | 職員会議 | 3ヶ月1回 | 全職員 | ・全職員共通認識の構築 | |
| ② | リーダー会議 | 月1回 | 施設長 マネージャー 各リーダー | ・運営の確認・予算管理 | |
| ③ | 入所系部署会議 | ユニットリーダー会議 | 月1回 | ユニットリーダー | ・サービスの内容等確認 ・事業戦略 |
| | | 給食会議 | 3ヶ月1回 | 栄養士 厨房全職員 | |
| | | GH会議 | 月1回 | GH全職員 | |
| | | 連携会議 | 3ヵ月1回 | 看護リーダー 特養介護リーダー 各専門職 事務 | |
| ④ | 在宅系連携会議 | 3ヶ月に1回 | 在宅マネージャー 各通所リーダー 訪問介護リーダー 居宅リーダー 短期入所 | | |
| ⑤ | 事業所毎会議 | 1~2ヶ月に1回 | 全職員 | ・業務の課題検討 ・入所者・利用者の情報の共有 ・事業計画の進捗状況 その他目的サービスの向上について | |

2014年度 ハピネス五戸 事業計画

| 2014年度【各種会議】施設月別年間スケジュール表 | | | | | | | | | | | | |
|---------------------------|---|--------|--------|--------|--------|---------|--------|-----------------|--------|--------|--------|--------|
| | 2014上半期 | | | | | 2014下半期 | | | | | | |
| | 第1四半期 | | 第2四半期 | | 第3四半期 | | 第4四半期 | | 1月 | 2月 | 3月 | |
| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
| 職員会議 | 4月11日 | | | 7月18日 | | | 10月17日 | | | 1月23日 | | |
| リーダー会議 | 4月18日 | 5月16日 | 6月13日 | 7月11日 | 8月22日 | 9月12日 | 10月10日 | 11月14日 | 12月19日 | 1月16日 | 2月13日 | 3月13日 |
| 入所系部署 会議 | 各月1回 | | | | | | | | | | | |
| | ユニット 会議 GH会議 連携会議 給食会議 連携会議 居室3事業 所合同会議 | 運営推進会議 | 運営推進会議 | 運営推進会議 | 運営推進会議 | 運営推進会議 | 運営推進会議 | 運営推進会議 (交流会) | 運営推進会議 | 運営推進会議 | 運営推進会議 | 運営推進会議 |
| 在宅系会議 | 4月中旬 | | 6月下旬 | 7月中旬 | | 9月下旬 | 10月中旬 | | 12月下旬 | 1月中旬 | | 3月26日 |
| | 4月25日 | | | 7月25日 | | | 10月24日 | | | 1月23日 | | 2月中旬 |
| 事業所毎会議 | 1~2ヶ月に一回 | | | | | | | | | | | |
| 委員会 | 居宅 週一回 | | | | | | | | | | | |
| | 事故防止 感染症等 じょくそう防 権利擁護 看取り 口腔リハビリ 排せつ 広報 医療連携 学習療法 研修 コーディネート | | | | | | | | | | | |
| | 1~3ヶ月に一回 | | | | | | | | | | | |

2014年度 ハビネス五戸 事業計画

| | 2014年度【 行事計画 】 | | | | | | | | | | | |
|------------------|---|-----------------------------------|---------------------------------------|--|--|------------------------|---------------------------------|----------------------------|----------------------------|---------------------|---------------------|-----------|
| | 2014上半期 | | | 2014下半期 | | | 第3四半期 | | | 第4四半期 | | |
| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
| 全体 | | ごみゼロ運動 | | ハビネス夏祭り | | | 地域貢献事業 | 五戸町産業と文化祭り | | | | |
| 特ハビ + ハビSS | お茶会 | 外部余興 お花見ドライブ お茶会 100歳誕生会 | 川原町分団交流 花見ドライブ 母の日 個別シヨッピング | 江渡幼稚園交流会 田の草とり祭り お菓子パーティー 七夕会 | 五戸祭り見学 100歳誕生会 五戸敬老会 紅葉ドライブ シヨッピング | 紅葉ドライブ シヨッピング | 産業と文化祭り 外部余興 | みゆき保育園交流会 クリスマス会 忘年会 | 地域ボランティア交流会 新年会 | 節分 | お菓子パーティー | |
| GHハビ | 川原町分団交流 誕生者1名 個人ボランティア 花、畑の手入れ | 花見ドライブ 母の日 個別シヨッピング | 川原町分団交流 パーベキュー 梅祭り | 個別シヨッピング 田の草とり祭り | 誕生者1名 五戸祭り見学 個別シヨッピング | 川原町分団交流 収穫祭(デイひまわり) | 産業と文化祭り 個別シヨッピング | 誕生者2名 クリスマス会 | 個別シヨッピング 新年会 川原町分団交流 | 誕生者2名 節分 | 誕生者2名 継続 | |
| デイハビ | | お花見ドライブ | シヨッピング | | 五戸祭り見学 | マエタスアンソッピング 紅葉ドライブ | 産業と文化祭り | クリスマス会・忘年会 | 小正月 | 節分 | 園内販売 | |
| 通所(認知) | 畑作り | お花見ドライブ | 遠足 母の日(手工芸花作り) | | 五戸祭り見学 | 紅葉ドライブ | 産業と文化祭り | クリスマス会・忘年会 クリスマス会ケーキ作り | 小正月 | 節分 | 手作り料理教室 | |
| ティコス | 畑の手入れ +和田車庫お花見ドライブ 鯉のぼりを飾る観桜会 | 町の日 イオン下田シヨッピング 花・野菜植え | コスモス感謝祭 町の日 あぐりの重イチョコ祭り 避難訓練 | 七夕会 町の日 かっぱ舞司と海ドライブ | 町の日 敬老会 園内販売 | 紅葉ドライブ 曜日対応運動会 | 産業と文化祭り 焼き芋会 避難訓練 外部余興 | 園内販売 クリスマス忘年会 | 初詣 餅つき新年会 | 節分 えんぶり観賞 | 継続 園内販売 外部余興 | |
| ティルビ | 畑づくり | お花見ドライブ 避難訓練 | うめ祭り 個別シヨッピング | 七夕会 | 浅水まつり見学 敬老会 | 紅葉ドライブ | 産業と文化祭り 個別シヨッピング | クリスマス忘年会 正月飾り作り | 金沢商店園内販売 | 避難訓練 節分 無料体験 | 浅水婦人会訪問 継続 | |
| 居宅ハビ | 事業計画について詳細検討 | | | | | | 産業と文化祭り | 介護者教室 (介護保険説明会等) | 介護者教室 (介護保険説明会等) | 介護者教室 (介護保険説明会等) | 介護者教室 (介護保険説明会等) | 居宅事業所合同会議 |

2014年度 ハピネス五戸 事業計画

| | | 2014年度【 研修会 】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------------------------------|------------------------|-------------------------|------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|---------------------------------------|-------------------------|-------------------------|-------|------|-------|--|-----|--|-----|--|----|--|----|--|----|--|--|
| | | 2014上半期 | | | | | | 2014下半期 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 第1四半期 | | 第2四半期 | | 第3四半期 | | 第4四半期 | | 第1四半期 | | 第2四半期 | | | | | | | | | | | | |
| 4月 | | 5月 | | 6月 | | 7月 | | 8月 | | 9月 | | 10月 | | 11月 | | 12月 | | 1月 | | 2月 | | 3月 | | |
| 全休(研修委員) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ユニット脱え ・腰痛予防の介護技術 ・医療行為 | ・接遇 ・ケアプラン ・医療行為 | ・感染症 ・医療行為 | ・KYT ・医療行為 | ・感染症の対応 ・医療行為 | ・看取り ・医療行為 | ・梅毒予防 ・医療行為 | ・感染症 (インフルエンザ、 ノロウイルス) ・医療行為 | ・権利擁護 ・医療行為 | ・排泄 ・医療行為 | | | | | | | | | | | | | | | |
| GHナビ | ・法令遵守 ・緊急時の対応 | ・プライバシー保護 ・権利擁護 | ・災害時の対応 | ・食中毒 | ・認知症ケア | ・身体拘束について | ・各職員主催の伝達研修 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| デイナビ | ・急変時の対応 ・記録 | ・食中毒 | | | | | ・感染症 (インフルエンザ、 ノロウイルス) | ・冬の安全運転について | | | | | | | | | | | | | | | | |
| デイコス | ・急変時の対応 | | | | | | ・感染症 (インフルエンザ、 ノロウイルス) | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ディルビ | ・急変時の対応 | | ・接遇、コミュニケーション | | | | ・介助時の腰痛予防 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 居宅ナビ | ・介護保険制度改正 について | ・青森県介護支援専門 員協会八戸支部研修 | ・八戸地域介護支援専門員 協議会研修 | ・五戸地域介護支援専門員 連絡協議会研修 | ・八戸地域介護支援専門員 連絡協議会研修 | ・五戸地域介護支援専門員 連絡協議会研修 | ・認定調査従事者研修 | ・五戸地域介護支援専門員 連絡協議会研修 | ・五戸地域介護支援専門員 連絡協議会研修 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 訪問介護 | ・接遇 | ・急変時の対応 | ・食中毒 | ・脱水症状と対策 | ・清拭・部分浴 | ・着脱・排泄 | ・生活援助 | ・感染症の対応方法 | ・口腔ケア | ・高血圧 | ・認知症 | ・糖尿病 | | | | | | | | | | | | |
| 外部研修 | | ・GH協会総会 | ・ヘルパー協会 ・エネットリーダー研修 | ・防火管理者研修 | ・認知症実践者研修 | ・ヘルパー協会 | ・GH協会忘年会 | ・ヘルパー協会 | | | | | | | | | | | | | | | | |